

老蘇学区 安寧のまちづくり アンケート集計結果（要旨）

1 アンケート調査の概要

- (1) 調査の目的：老蘇学区に居住する方々を対象に、交流や地域での支え合い、移動や買い物、子育てに関わる現状とニーズを把握し、今後の活動計画を立案する際の材料とすること。
- (2) 調査項目の作成：老蘇学区安寧のまちづくり推進協議会のメンバーとの協議を経て、東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）でアンケート調査の設計・集計・分析を行った。
- (3) 調査方法：老蘇地区に居住する、809世帯に配布。526世帯より回収（世帯回収率：65.0%）
有効回答数：525世帯・850名（回答2名の世帯：325世帯）。
- (4) 実施時期：2019年12月～2020年1月
- (5) 主な調査項目：日頃の近所づき合い・社会参加の状況・支え合いへの関心・買い物の場所・移動手段・外出や移動への意見・子育て世帯のニーズなど。
- (6) 回答者の性別（図1-1）：男女の構成比は、ほぼ1:1。
- (7) 回答者の年齢（図1-2）：50代以上で3/4を占める。もっとも多いのが60代（約3割）。
- (8) 回答者の居住する集落と居住年数：それぞれ、図1-3、図1-4の通り。

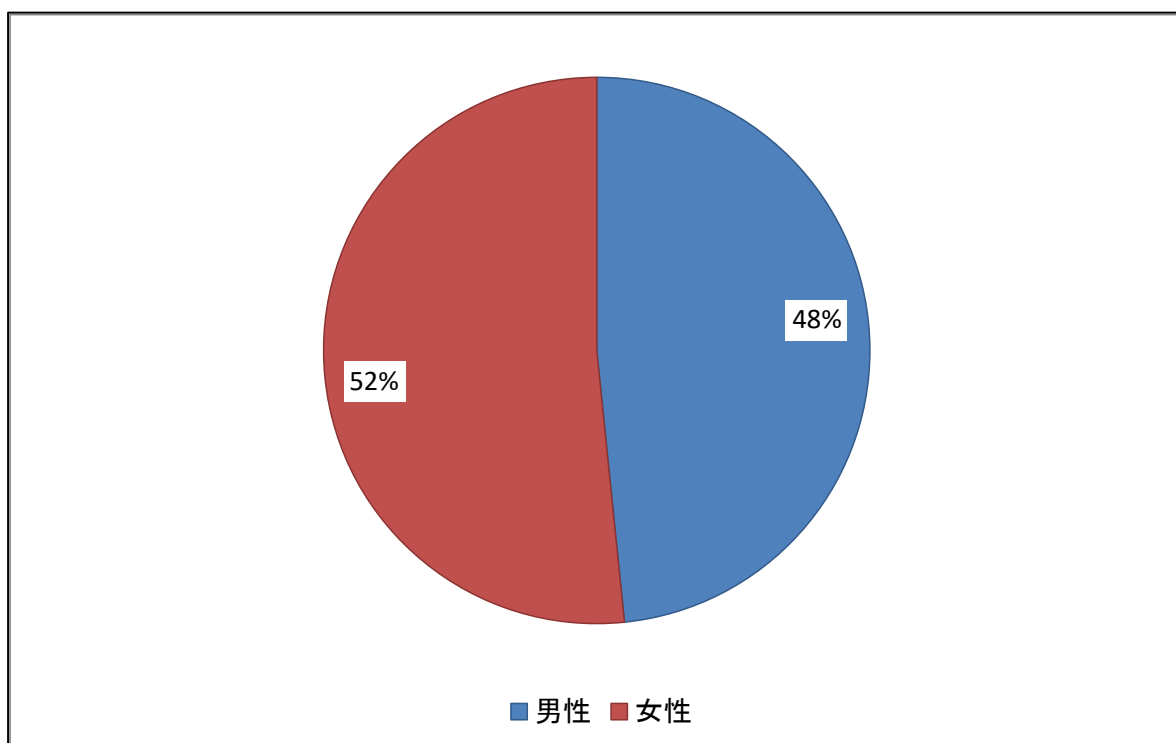


図1-1 回答者の性別（N=835）

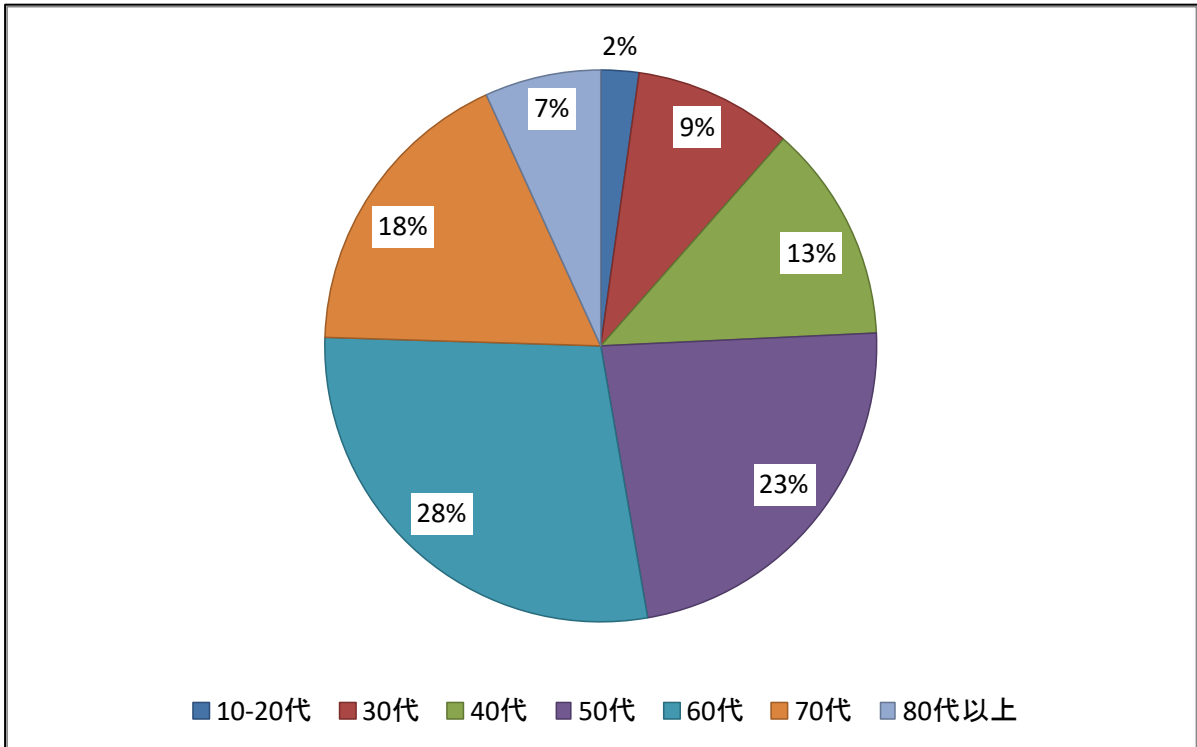


図 1-2 回答者の年齢分布 (N=808)

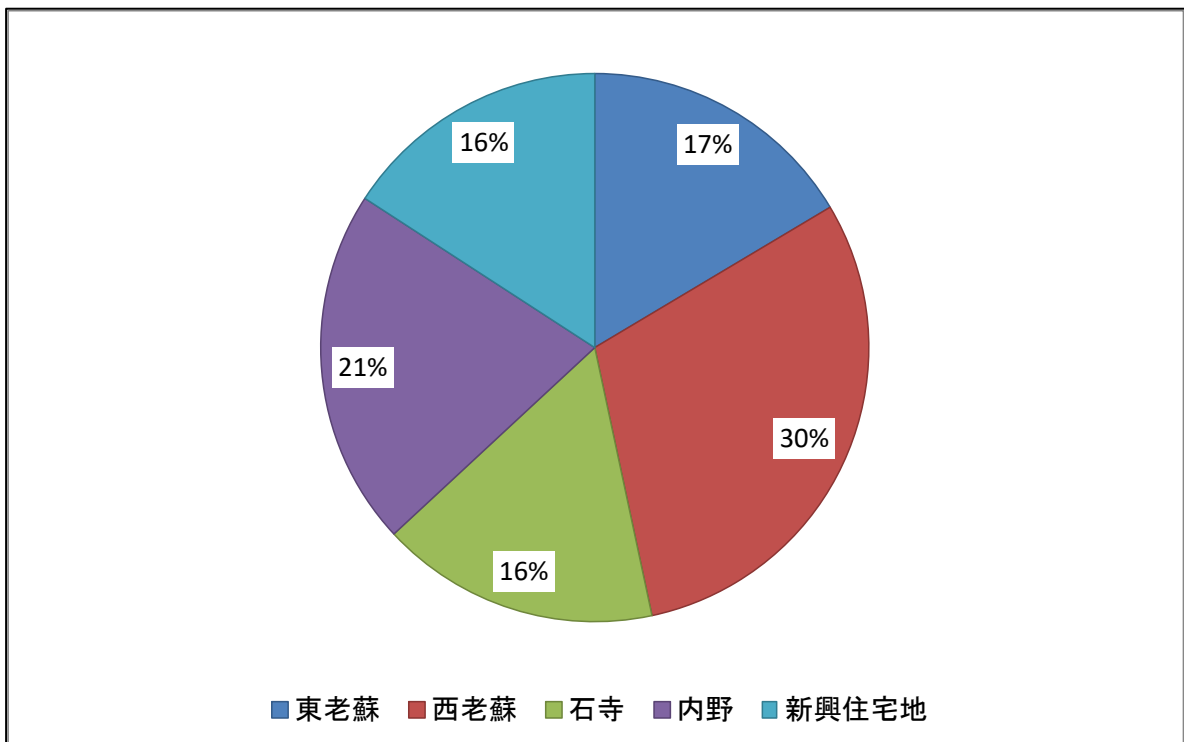


図 1-3 回答者の居住する集落 (N=821)

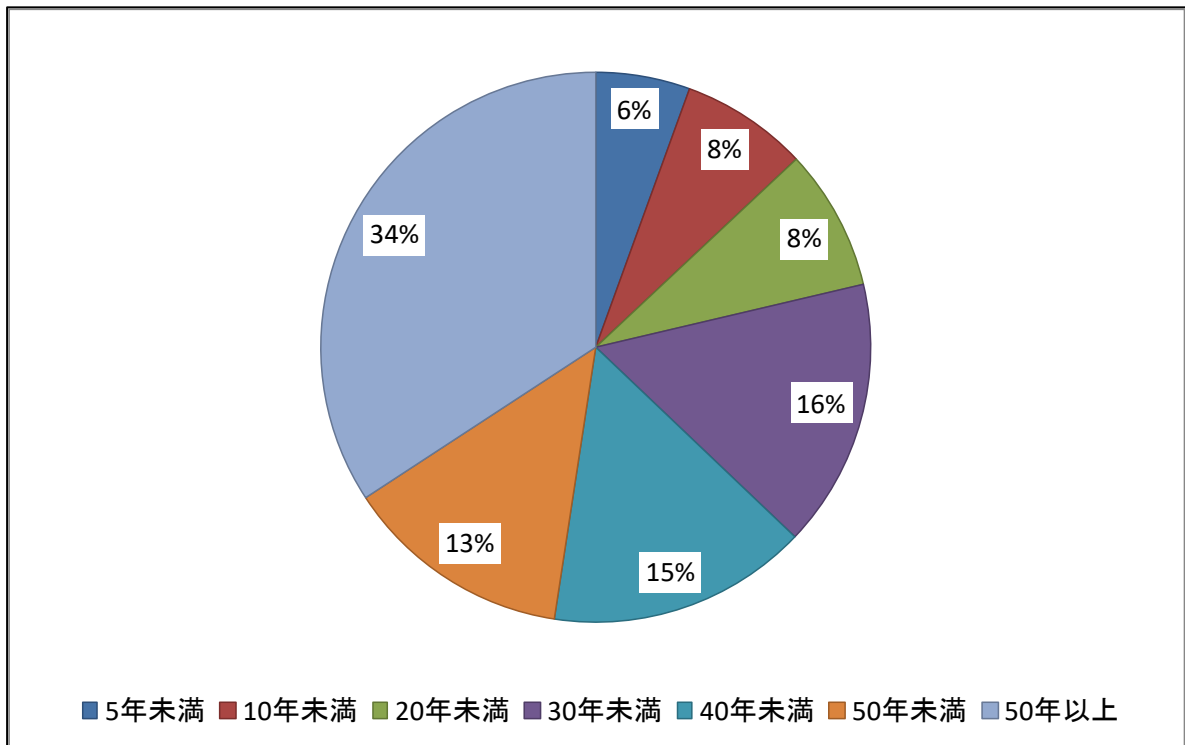


図1-4 居住年数 (N=830)

2 近所づきあいや社会参加の状況

- ★ ご近所づきあいの程度を見ると、「立ち話程度」が最も多く（53.1%）、次に「挨拶程度」が多かった（31.6%）。「生活面で協力」は1割強、「付き合い無し」は非常に少数だった（図2-1）。

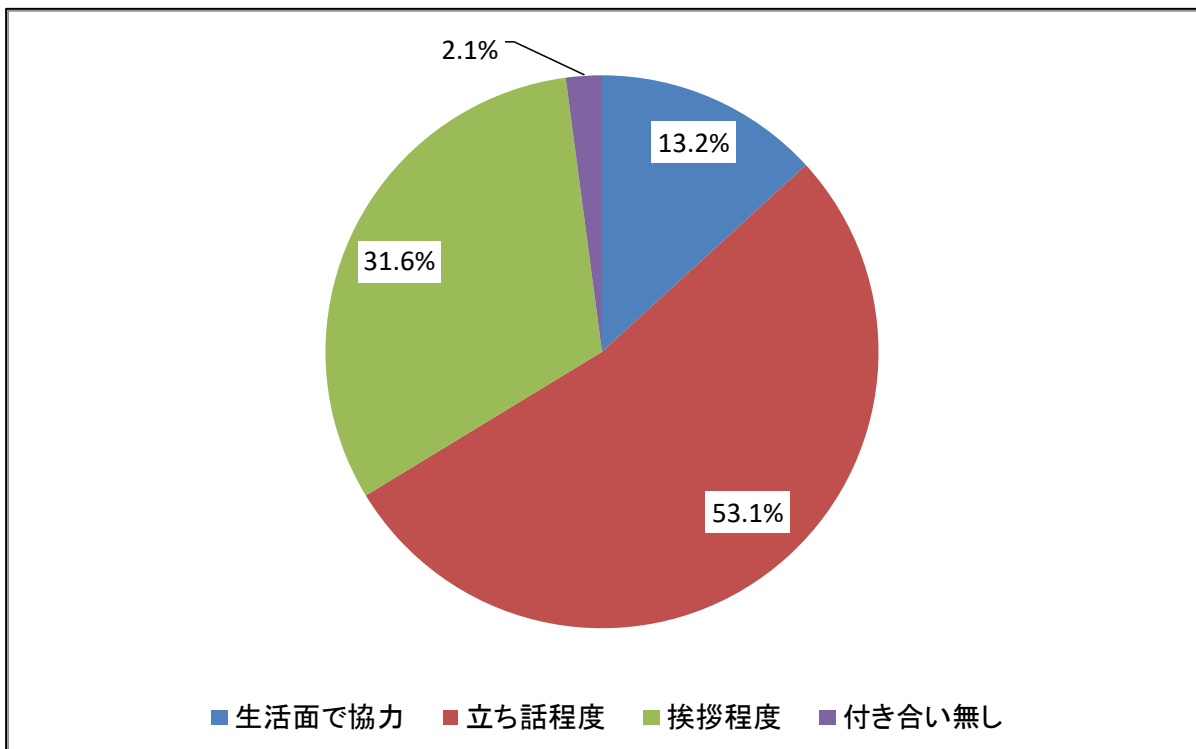


図2-1 ご近所付き合いの程度

- ★ 家族以外の周りとの関係性（ソーシャル・サポート）については、「気配りや思いやってくれる人」がいる割合が6割を超えていた。続いて「助言やアドバイスをしてくれる人」「心配事や愚痴を聞いてくれる人」「ご飯やお茶を一緒にする人」も5割を超えていた（図2-2）。

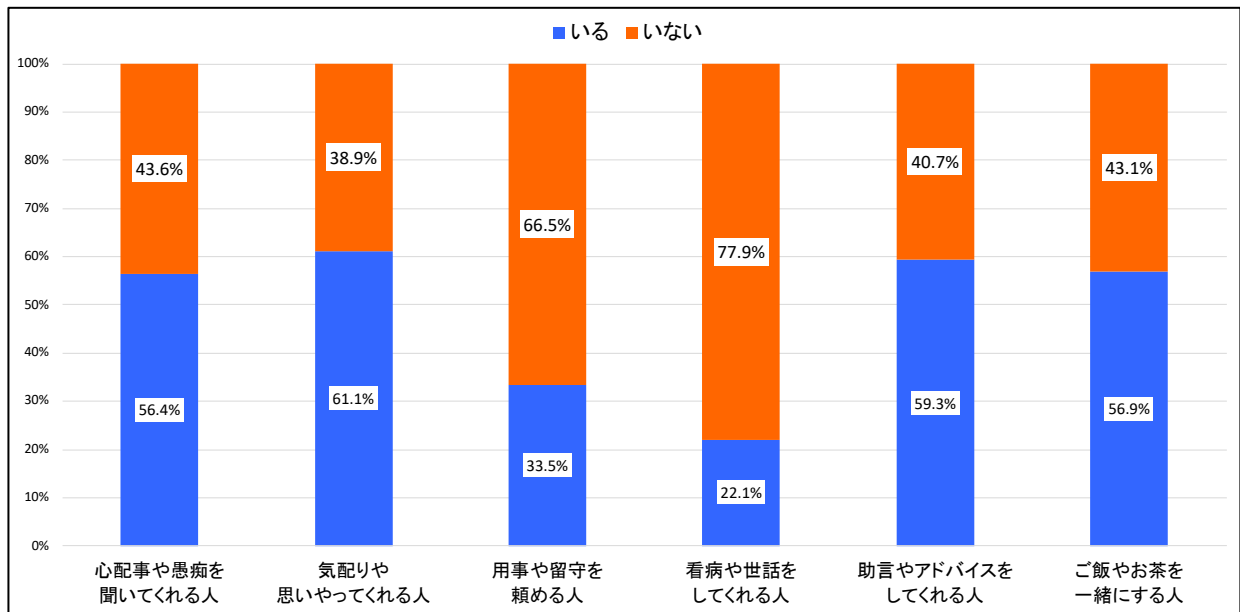


図2-2 家族以外の周りとの関係性

- ★ 地域に対する意識を尋ねたところ、「地域のために役立ちたい」「近所の人はお互いに気にかけている」など、地域のつながりを意識するという項目に関して、肯定的な割合が高かった。この一方で、「自分の問題は出来るだけ他人に頼らずに解決したい」という、個人の生活を重視する項目についても肯定的な割合が高く、二極化が進んでいる（図2-3）。

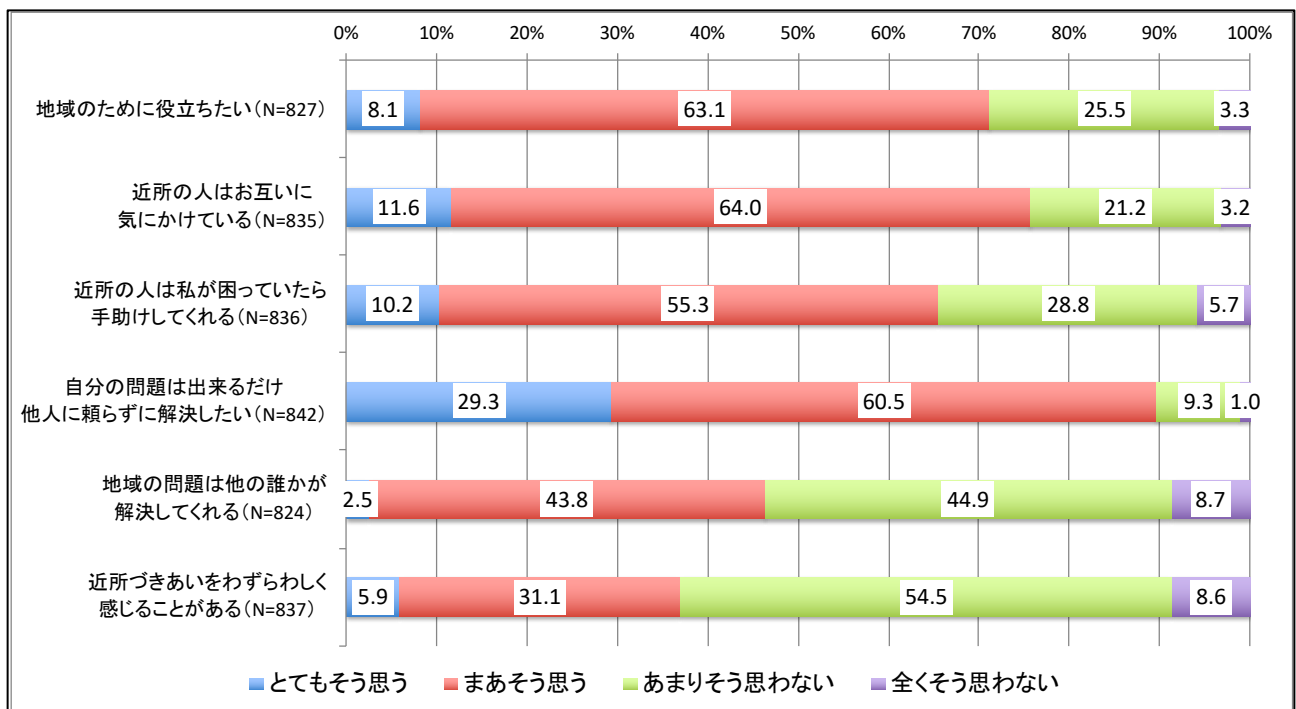


図2-3 地域に対する意識

- ★ 支え合い活動への関わり方については、環境保全の活動、高齢世帯の見守り活動、高齢者の相談相手や話し相手といった活動に関わりたいという割合が比較的高くなっていた（図 2-4）。

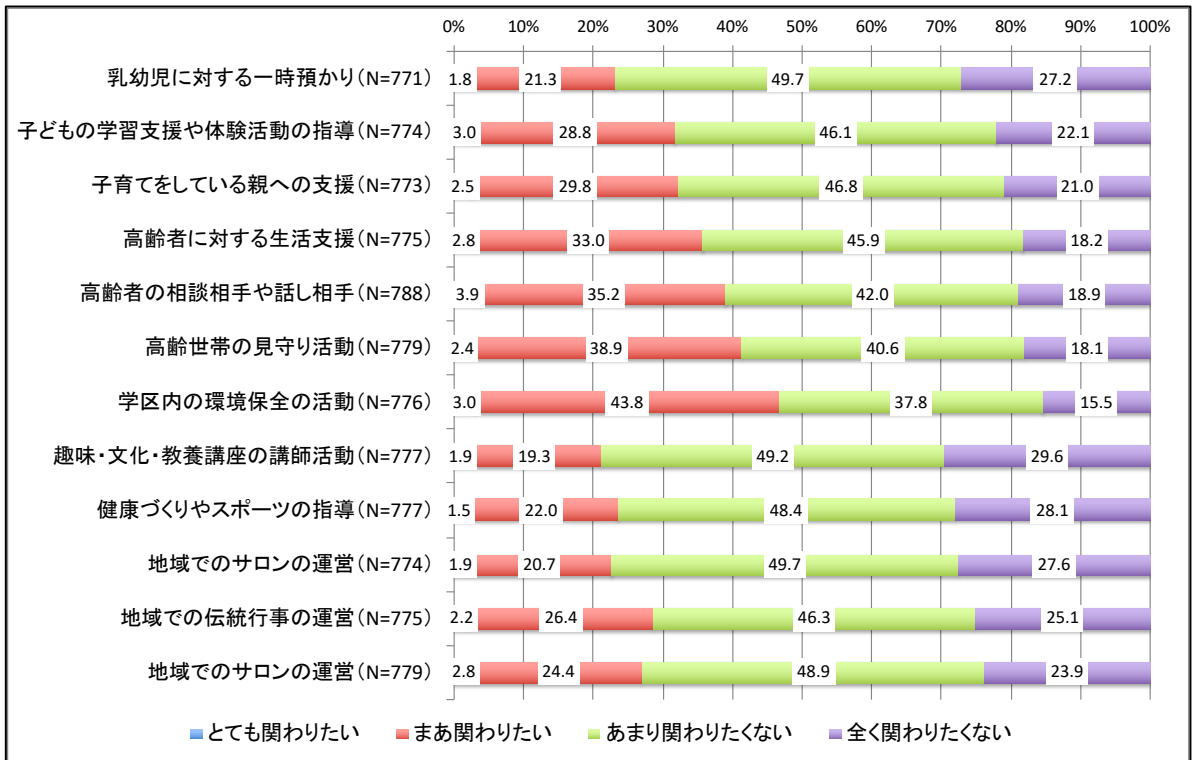


図 2-4 支え合い活動への関わり方

3 外出や移動の状況

- ★ 外出の目的別の頻度を見ると、「仕事」はほぼ毎日、「買い物」は週 1~2 回程度、「遊びや食事」「友人に会う」「趣味やスポーツ」「通院」は月 1~2 回程度が多い（図 3-1）。

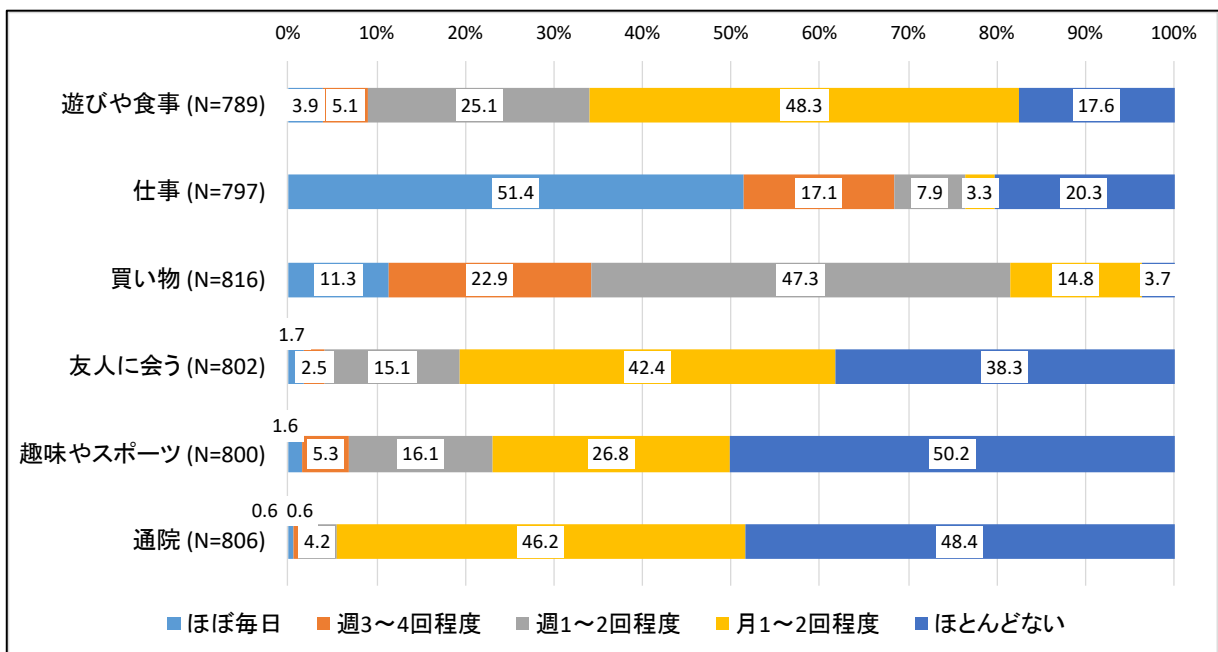


図 3-1 外出の目的別の頻度

- ★ 外出や移動に関する意見は、「今後運転できなくなると生活が不便になる」という意見が多数であった。また、「地域で買い物や食事をできる場所が少ない」「バスなどの公共交通を充実してほしい」という意見も多かった（図3-2）。

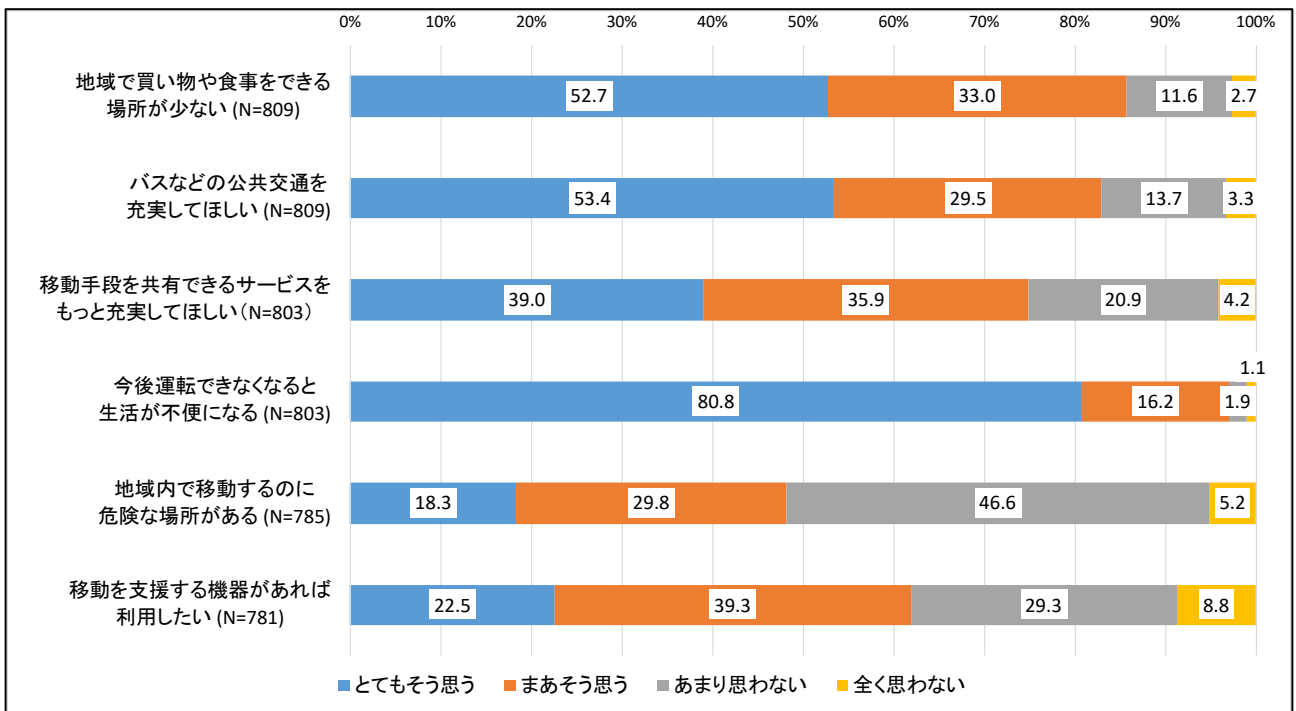


図3-2 外出や移動に関する意見

- ★ 買い物する場所や方法については、性別・年代・居住する集落・居住年数による差が見られた（図3-3）。

	性別	年齢	集落	居住年数
安土町内	女性の方が高い	70代以上が高い		
近江八幡市内		70代以上が低い	東老蘇・西老蘇・新興住宅地が高い	50年以上が低い
五個荘地域内			石寺・東老蘇・新興住宅地が高い	
八日市地域内		10-40代が高い	内野が高く、石寺が低い	
宅配サービス				
ネットショッピング		10-40代が高い 70代以上が低い	東老蘇・西老蘇・新興住宅地が高い	20年未満が高い
親しい方に依頼		70代以上が高い		20年未満が低い

図3-3 買い物をする場所・方法（性別・年齢・集落・居住年数による差）

4 子育て環境や子育てサービスに関する意向

- ★ 子育て中の（子や孫と同居している）回答者は、228名（全回答者中の26.8%）であった。
- ★ 子育てに関する環境（友人・知人との関係や、学区内の状況）について、肯定の割合が高い順に見ると、イベント情報の入手、保護者同士の交流、困った時に相談できる友人・知人の存在、子どもを安心して遊ばすことのできる場、親子で安心して過ごせる場となっていた（図4-1）。

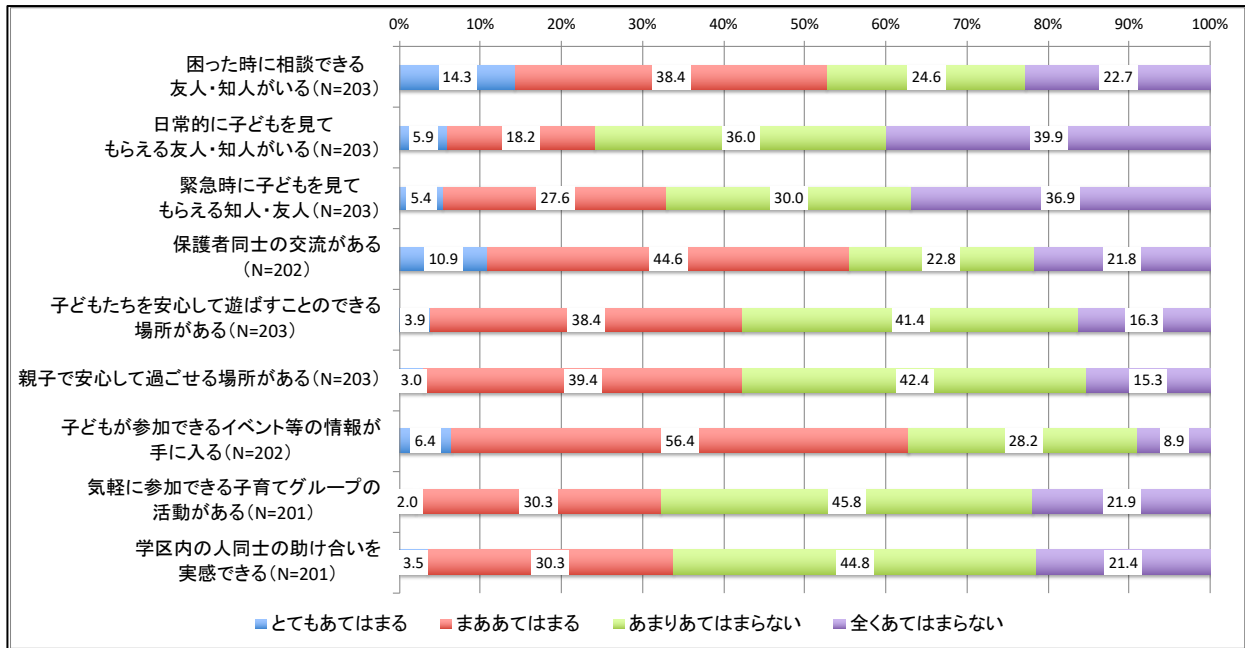


図4-1 子育てに関する環境

- ★ 子育てで利用したいサービスについては、屋外で自由に遊べる場、自然環境や地域特性を活かした教育の希望が高い。次いで、放課後の学習や体験活動、学校外での学習や体験活動、お楽しみ会や交流会などの割合が高い（図4-2）。

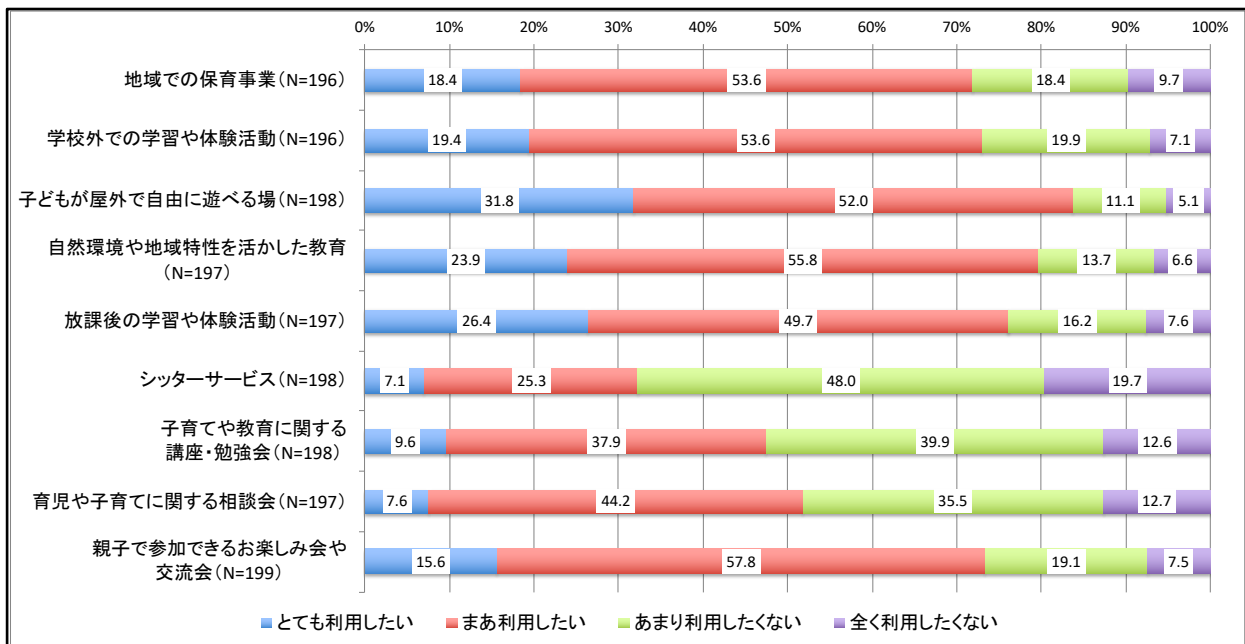


図4-2 子育てで利用したいサービス